



# 鶴舞マインド便利

発行元：千葉県循環器病センター 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 TEL. 0436(88)3111(代表) FAX. 0436(88)3032  
URL <http://www.pref.chiba.lg.jp/junkan>

## 循環器病センター5つの運営指標

- 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

## 病院長あいさつ

「一人ひとりを大切にする医療をめざして」

病院長 村山 博和



本年4月より病院長に就任いたしました。私は研修医として心臓血管外科を勉強する機会を得たのが縁となり昭和61年の着任より現在まで勤務してきました。循環器病センターは前身の千葉県立鶴舞病院の時代より、千葉県内でも先駆けて新生児から高齢者まで幅広く心臓血管疾患の手術を実践してきた病院です。当時は心臓血管外科医師が多く在籍する病院でしたが、その後一般診療部門が増強されるとともに脳神経系の専門診療チームが加わり平成12年に千葉県循環器病センターとして新たなステップを踏み出しました。ガンマナイフ治療もこの年から開始されています。開設以来、循環器系疾患、脳神経系疾患に対する高度(政策)医療を全県レベルで広く行っていくセンター機能と内科等の一般診療科を中心とした地域中核病院機能の双方を併せ持った病院として県民に対して医療を提供してきました。千葉県保健医療計画（H23-H27版）には「県立病院が担うべき具体的医療機能は、がん医療、循環器医療、小児医療、リハビリテーション医療、救急医療、精神科医療等の高度専門的な医療に取り組むことである」と明記されていますが、センターもこのような県立病院としての使命を担ってきたと言えます。平成26年4月に県立東金病院の機能移転により糖尿病代謝内科部門、腎臓透析部門が加わりました。以後、高度医療部門と一般部門双方において診療の幅が広がることとなりました。高度医療分野では昨年度末から院内組織横断的なハートチーム（心臓カテーテル治療部）が中心となりTAVI（経カテーテル的大動脈弁植え込み術）を開始しました。今年度は新たな取り組みとして頭蓋内電極設置術や焦点切除術など、難治性てんかんに対する外科治療開始に向けて準備を進めています。また、救急や医師教育体制を含めた地域一般診療部門の充実を目指し、総合診療専門医教育プログラム（基幹施設）の立ち上げを進めています。

少子高齢化や国による地域包括ケア構想の推進など、変化していく医療の環境の中で、「一人ひとりを大切にする医療」を実践し、職員とともに持続可能な病院組織を築いていきたいと思っております。

# てんかん外来を行っています



## てんかんとは…？

てんかんは大脳皮質に病因が存在し、症状としててんかん発作を有する疾患の総称(てんかん症候群)です。現在わが国には全人口の0.8%約100万人のてんかん患者さんがいます。てんかんは全年齢層で発症しますが小児期と老年期にピークがあり、発作症状は意識障害、手足のけいれん、しびれ、精神症状等多彩で、本人・家族が発作に気づいていない事もあります。

高齢患者さんではもの忘れの原因の一つ(約5%)で、認知症と間違われてしまう場合があります。てんかん治療の第一選択は抗てんかん薬です。70-80%の患者さんは薬の内服で発作が抑制されます。一方20-30%の患者さんは薬だけでは発作が抑制できず、日常生活に多大な不都合を生じています(難治性てんかん)。難治性てんかん患者さんの約15%の方は、手術で治療が可能です(てんかんの外科治療)。てんかんの外科治療は高度医療(三次診療)です。

当センターは県内唯一のてんかん三次医療施設であり、千葉県全域の難治性てんかん患者さんの診療を行っています。



## てんかん外来

当センターでは2016年4月よりてんかん外来を開始しました。初診、紹介いずれの患者さんも診療します。すでに他の医療機関へ通院している患者さんは、診療情報提供書(紹介状)、脳波・MRI等の検査資料、お薬手帳を持参してください。完全予約制ですので、外来診療を希望する方は下記までご連絡ください。

外来予約：千葉県循環器病センター 地域医療連携室  
電話：0436-88-3111 (代)  
午前8：30-午後5：00

外来日：毎週金曜日  
場所：11番診察室



## てんかん外来

峯清一郎先生にお聞きしました！！



1. てんかん治療を開始したきっかけはなんですか？  
→Johns Hopkins大学てんかんセンター（米国ボルチモア市）への留学のチャンスを得たことがきっかけ
2. 実際の活動内容を教えてください  
→診断から手術まで診療のすべてを行っています。治療だけでなく、福祉制度の紹介、就労支援制度の紹介も行っています。
3. 業務を行う上で苦労されていることはありますか？  
→患者さんご家族の協力が得られない場合は苦労します。
4. 専門外来を行う上で気をつけていることはありますか？  
→患者さんは多くの場合治療歴が長く、社会生活の制約や社会的偏見にさらされて生きてきたので、それらを念頭に患者さんに接することが重要と考えています。
5. 今後の目標を教えてください  
→てんかん診療は、患者数が多い、疾患が多彩、治療のアプローチが内科・外科・精神科と多岐にわたる、社会医学的対応を要する等の特徴を有しており、チームとして対応することが必要です。当院でまずてんかんセンターを構築し、その次の段階として千葉県全体を網羅するようなネットワークを構築することが目標です。
6. 最近仕事で嬉しかったことはありますか？  
→患者さんが社会復帰して就労したとき。
7. 逆につらかったことはありますか？  
→発作コントロールが成功したのに、それまでにはなかったような精神症状の出現で社会復帰がかなわなかったとき。
8. 休日は何をして過ごすことが多いですか？  
→平日にはできないような、テキストや学術論文の精読。学術論文の作成。  
ランニングとストレッチは必ず時間を取って行います。小旅行。スキューバダイビング。
9. 当センターを受診される方・読者へ一言お願いします  
→患者さんと家族が、当センターを受診する前よりも、受診後のほうが幸せを感じられるようにしたいですね。

## 看護の日開催しました！

5月7日（土）に当センターにて看護の日が開催されました。  
医師による講演や血管年齢測定・骨密度測定、体験コーナーなど、たくさんの方に参加していただきました。ご来場くださったみなさんありがとうございました。



チーバくんも参加してくれました！

各コーナーにたくさんの方が来てくれました！！



## お知らせ

第21回市民公開講座を開催します！

日時：平成28年11月19日（土）  
午前中

場所：茂原市東部台文化会館

講師：浅野 宗一 心臓血管外科主任医長  
田永 幸正 循環器内科主任医長

★申込方法など詳細が決まり次第、病院内掲示やホームページにてお知らせいたします★

市原市民会館で開催された  
昨年の市民公開講座の様子です！！



## ボランティア募集中！！

千葉県循環器病センターではボランティアさんを募集しています。

- ★特別な資格や経験は必要ありません。
- ★環境整備、受付、病棟などいろいろな場面で活躍していただけます。
- ★ボランティアさんの無理のない範囲での活動をお願いしています。

興味のある方は下記までご連絡ください！

申込・お問い合わせ

循環器病センターボランティア実行委員会事務局

TEL:0436-88-3111（代）

FAX:0436-88-3032

活動内容等、詳しく知りたい場合はホームページをご覧ください。ボランティア実行委員会事務局までお問い合わせください！



## ギャラリー二つ返事

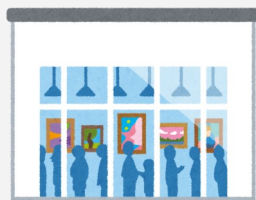
7月 フォトクラブ紅陽  
『写真』

8月 布の里工房  
『織り物』

9月 桃花会大多喜支部  
『ペン字』  
(1日～15日)

古市登  
『古紙リサイクルアート』  
(16日～30日)

2階ギャラリーにて展示中  
ぜひお立ち寄りください♪



## 市民公開講座を開催しました

6月18日（土）に第20回市民公開講座を開催しました

今回は糖尿病をテーマに、内科の加賀谷先生とICU病棟の鈴木看護師長が講師となり、病気の特徴や治療法を解説しました。参加者の方々が熱心に講座を聞いている姿がとても印象的でした！



## 美化デー行いました！！

5月6日（金）に美化デーを行いました！

天候がすぐれない中、病院ボランティアの方と鶴舞地域在住のみなさんが集まってくださいました！！

正面玄関前の花壇や花時計まわりを全員できれいにしました。ご協力くださったみなさん本当にありがとうございます！

